

弊社取扱い主要航空会社 ①中部・静岡・富山・小松 ②成田・羽田・関西運航情報 <2021年7月27日現在>

航空会社 ◆国際線①◆		発着空港	路線	フライト名	期間	●黄色箇所は今週更新分です			
AY	フィンエアー		中部	ヘルシンキ	080/079	運休	8/31まで	8/31まで(74/73)成田発(金土日)、ヘルシンキ発(水木金)の週3便運行	
BR	エバー航空		中部	台北	127/128	運休	9/30まで	成田発着 7月(水金日)、関空発着 7月(水金日) 運行予定	
			小松	台北	157/158	運休	-		
BX	エアブサン	LCC	中部	ブサン	131/132	運休	10/30まで		
CA	中国国際航空		中部	上海	406/405	運休	10/30まで	8/31まで 成田発着 (930/929)上海(木)週1便、成田発着 (146/145)杭州(水)週1便運航	
				北京	160/159	運休	10/30まで		
					760/759	運休	10/30まで		
CI	チャイナエアライン		中部	台北	151/150	運休	11/01まで	8/4(水)、25(水)、9/8(水)、22(水)、10/6(水)、20(水) 運航	
				静岡	台北	169/168	運休		10/29まで
				富山	台北	171/170	運休		10/29まで
CX	キャセイパシフィック航空		中部	香港	533/532	運休	7/31まで	成田発着(521/520)(火木土)週3便、関空発着(507/506)(水土)週2便運航予定	
					539/536	運休	7/31まで		
				台北・香港	531/530	運休	7/31まで		
CZ	中国南方航空		中部	上海	380/379	運休	10/28まで	成田発着 (8102/8101)広州(水)週1便、成田発着 (628/627)瀋陽(木)週1便運航	
				広州	6056/6055	運休	10/28まで		
				大連	620/619	運休	10/28まで		
DL	デルタ航空		中部	ホノルル	612/611	運休	-	名古屋(日)発、デトロイト(金)発 週1便 運航 ※羽田発着 週3便にて運航	
				デトロイト	094/095				
EY	エティハド航空		中部	アブダビ	889/888	運休	-	成田発着 週3便にて運航	
HO	上海吉祥航空		中部	上海	全便	運休	7/31まで	関空発着 上海 1334/1333 (火)、南京 1609/1610 (木)各週1便にて運航	
				南京	1602/1601	運休	7/31まで		
JL	日本航空		中部	台北	821/822	運休	9/30まで	(台北)成田 週2便、羽田 週5便運航	
				上海	883/884	運休	9/30まで		
				天津	841/840	運休	9/30まで		
				ホノルル	794/793	運休	9/30まで		
KE	大韓航空		中部	ソウル	744/743	運休	8/31まで	8/31まで毎週(土)の週1便 ※8/14(土)は欠航 9/1~30は毎週(水土)の週2便運航 成田発着(704/703) 毎日、関空発着(724/723)(水木)の週2便 運航	
					742/741				
				ブサン	754/753	運休	-		
				小松	ソウル	776/775	運休		-
LH	ルフトハンザドイツ航空		中部	フランクフルト	737/736	運休	10/30まで	10/31より運航再開予定	
MU	中国東方航空		中部	上海	292/291	運休	10/31まで		
					720/719	運休	10/30まで		
				北京	上記以外	運休	10/31まで		
OZ	アジアナ航空		中部	ソウル	121/122			毎週(金)発の週1便 運航 ※7/30(金)発は欠航 成田(101/102) 毎日、関空(111/112) 毎日 運航予定	
					123/124	運休	8/31まで		
PR	フィリピン航空		中部	マニラ	437/438			8/1~31は(月水金)の週3便 運航 成田発着 毎日、羽田発着(月水金日)の週4便、関空発着 毎日 福岡発着(水金日)の週3便 運航予定 ●フィリピンの入国制限により今後、変更になる場合もございます。 ※成田/セブの直行便は 8/7(土)、21(土)の運航予定	
				セブ	479/480	運休			
SQ	シンガポール航空		中部	シンガポール	671/672			(水土日)の週3便 運航 成田発着 毎日、関空発着 毎日、福岡発(木土)の週2便 羽田発着(火木日)の週3便 運航予定	
TG	タイ国際航空		中部	バンコク	645/644			(木日)発の週2便 運航	
					647/646	運休	7/31まで		
入国許可書(COE)の事前取得などタイ政府が定める条件をクリアした乗客のみ搭乗可能です。また、タイ国籍の方がご帰国便としてご利用いただけるフライトは大使館より指定されております。詳しくはTGのHPIにてご確認ください。									
TW	ティーウェイ航空	LCC	中部	ソウル	238/237	運休	9/15まで		
UA	ユナイテッド航空		中部	グアム	136/137	運休	-	成田発着 197/196 毎日運航	
					172/171	運休	-		
VN	ベトナム航空		中部	ホーチミン	341/340	運休	8/31まで	8月の運航は日本発はありません。 HAN発NRT着は8/4、7、11、18、21、25、28 SGN発NRT着は8/3、10、24、31	
				ハノイ	347/346	運休	8/31まで		
XJ	タイ・エアアジアX	LCC	中部	バンコク	639/638	運休	-		
5J	セブパシフィック航空 (第1ターミナル利用)	LCC	中部	マニラ	5037/5036			7/31まで運休、8/01~10/31(火)の週1便運航予定 ●フィリピンの入国制限により今後、変更になる場合もございます。	
7C	チェジュ航空	LCC	中部	ソウル	1607/1608	運休	9/01まで	関空発着 1301/1302(日) 週1便運航	
					1601/1602	運休	8/31まで		
7G	スターフライヤー航空		中部	台北	811/810	運休	10/30まで		

航空会社 ◆国際線②◆		発着空港	路線	フライト名	期間	●黄色箇所は今週更新分です
AM	アエロメヒコ	成田	メキシコシティ	057/058	運休	9/01まで
EK	エミレーツ航空	成田	ドバイ	319/318	(火水木金土) 発 週5便運航	
		関西	ドバイ	317/316	(火木金土) 発 週4便運航	
		名古屋-関西のシャトルバスサービス(名古屋発16:00/関西着19:20)(関西発20:30/名古屋着23:50)				
ET	エチオピア航空	成田	アディスアベバ	673/672	(水金日) 発 週3便運航	
GA	ガルーダインドネシア航空	羽田	ジャカルタ	875/874	羽田発(金土日)の週3便運航	
		成田	デンパサール	881/880	運休	8/31まで
		関西	ジャカルタ	889/888	運休	10/30まで
		関西	デンパサール	883/882	運休	10/30まで
NZ	ニュージーランド航空	成田	オークランド	090/099	10/30まで成田(土)発、オークランド(金)発にて 週1便運航	
5J	セブパシフィック航空	成田	マニラ	5054/5059	7/31まで(水・土)発の週2便 運航	
		関西	マニラ	828/827	運休	10/30まで

★★★ Peach(ピーチ)★★★

航空会社 ◆国内線◆		運航	発着空港	路線	フライト名	スケジュール	運休日 ●赤字は7/19更新分の追加減便です	
MM	ピーチアビエーション (第一ターミナル使用)	毎日	中部	中部	新千歳	461	07:30/09:15	
				新千歳	中部	462	10:55/12:40	
				中部	新千歳	463	17:20/19:05	
				新千歳	中部	464	20:40/22:25	
				中部	仙台	491	13:20/14:35	※7/27~28、8/3、4、18、24、25、31 9/1、2、7~9、14~16、21、22、28~30
				仙台	中部	492	15:15/16:25	
				中部	那覇	481	08:30/10:50	※9/1、2、7~9、14~16、21、22、28~30
				那覇	中部	482	11:35/13:50	
				中部	石垣	487	15:20/18:00	
				石垣	中部	488	18:45/21:15	

※上記運航スケジュールは7/27時点のもので変更になる可能性があります。必ずご確認くださいませようお願いします。

NEWS & INFORMATION

“ワクチンパスポート”申請受け付け開始 海外渡航で接種証明 (NHK NEWSWEB 7/26付)

海外に渡航する人のために新型コロナウイルスのワクチン接種を終えたことを証明する、いわゆる「ワクチンパスポート」の申請の受け付けが始まりました。イタリアやオーストリアなど海外の一部の国では、入国時にワクチンの接種証明書を提示すると、検査や隔離措置が免除されることなどがあり、政府は、26日から住民票がある市区町村で申請の受け付けを始めました。このうち東京・品川区では、区役所の1階に臨時の窓口が設置され、午前8時半に受け付けが始まる前から10人余りが列を作りました。そして、受け付けが始まると、申請に訪れた人たちが手続きに必要な旅券のパスポートや書類を提出していました。イタリア人の40代の夫婦は「週末に2年ぶりに帰国する予定なので、接種証明書を取りに来ました」と話していました。また、60代の日本人の男性は「夫婦で2年ぶりにイタリアかスペインに旅行に行こうと話していて、早いに越したことはないと思って来ました」と話していました。ベトナムで教師をしているという70代の日本人の男性は「現地で生徒が待っている、いつでも行けるように準備しようと思いました」と話していました。品川区では窓口のほか、郵送でも申請を受け付けていて、原則、その日のうちに発行されるということです。品川区ワクチン接種証明担当の澤龍主査は「想定していたより多くの方にお越しいている。窓口が密になってしまうので、申請するのは海外に渡航する方だけをお願いしたい」と話していました。接種証明書は、新型コロナウイルスのワクチン接種を受けたことを公的に証明する文書で、海外に渡航する人のために発行されます。氏名や国籍などが日本語と英語で記載され、接種を受けたワクチンの種類や日付なども明記されます。当面、書面で交付され、手数料は無料です。申請には、原則として、申請書のほか、旅券や接種券、それに接種済証か接種記録書が必要です。外務省によりますと、接種証明書を提示することで入国時の検査や隔離措置の免除などを受けられる国は、今月21日の時点でイタリアとオーストリア、トルコ、ブルガリア、それにポーランドの5か国です。一方、WHO=世界保健機関は、接種証明書について、世界的にワクチンが不足して接種を受けられない人がいることなどから、出入国に不可欠な条件にしないよう求めています。また、海外では、スポーツジムやイベント会場などで提示を求めるときもありますが、厚生労働省は「ワクチン接種はあくまで希望する人が対象で、そもそもアレルギーなどを理由に接種を受けられない人もいます。現時点で経済活動に利用することは検討していない」としています。

アエロフロート、シェレメーチエヴォ国際空港のターミナルCに国際線を完全移転 (TRAICY 7/27付)

アエロフロート・ロシア航空は、モスクワのシェレメーチエヴォ国際空港の国際線発着ターミナルをターミナルCに完全移転した。ターミナルCは2020年1月にオープンし、当初は6月までの完全移転を目指していた。チェックインカウンターは一般エリアに62か所、税関エリアに4か所、乗り継ぎエリアに18か所の計84か所備える。パスポートコントロールブースも出発・到着それぞれ70か所、乗り継ぎエリアに4か所設けている。到着エリアのターンテーブルは5基用意する。年間処理人数は2,000万人。ロシア最大となる横68.5メートル×縦6.5メートルのフライト案内板のほか、保安検査場での自動機内持ち込み手荷物仕分けシステム、自動パスポートコントロール、5,000平方メートル以上のヨーロッパ最大級の免税エリアを備える。ターミナルBと接続している。アエロフロート・ロシア航空は、2020年に1,460万人を輸送した。グループ全体では3,020万人と2倍以上に及ぶ。シェレメーチエヴォ国際空港も、2020年には約1,900万人が利用した。

(フィリピン)マレーシアとタイからの入国も禁止、デルタ型変異株流入を懸念 (JETROビジネス短信 7/26付)

フィリピン大統領府は7月23日、マレーシアとタイからフィリピンへ渡航する者と、フィリピン到着に先立つ過去14日以内に両国に渡航歴がある者に対して、7月25日から7月31日にかけて入国を禁止すると発表した。大統領府は理由について「新型コロナウイルスのデルタ型変異株の流入を防ぐため」と説明している。フィリピン政府は既にこれら2か国に加え、7月31日までインドネシア、インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、アラブ首長国連邦(UAE)、オマーンに対してフィリピン入国禁止措置を行っている。フィリピン保健省(DOH)は7月22日、国内で新たに12件のデルタ型変異株の感染を確認したと発表した(政府通信社7月23日付)。その内訳は、パター州6件、ラグナ州2件、パンシッグ市2件、マニラ市1件、タギッグ市1件。この12件に加え、フィリピンでは累計47件のデルタ型変異株の感染が確認されている(うち3件の対象者は死亡)。政府通信社の報道によると、デルタ型変異株は1人の感染者が5人から8人に感染させると医療専門家はコメントしており、国内での懸念が高まっている。

台湾、居留証未所持の外国人は引き続き入国停止=陳指揮官 (フォーカス台湾 7/26付)

居留証(ARC)を持たない外国人の入国見合わせ措置について、中央感染症指揮センターの陳時中(ちんじちゅう)指揮官は26日午後の記者会見で、新型コロナウイルスの感染状況における警戒レベルが第2級に引き下げられる27日以降も継続すると発表した。緊急または人道的配慮によって訪台が必要な場合は例外とされる。台湾での乗り継ぎも引き続き停止される。陳指揮官は入国制限について、国内外の感染状況を見ながら適時に調整していくと説明した。

タイ、コロナ新規感染1万5000人超す 1日当たり最多 (日本経済新聞 7/25付)

タイ保健当局は25日、新型コロナウイルスの1日当たりの新規感染者数が1万5335人になり、過去最多を更新したと明らかにした。1万5千人を超えたのは初めて。死者は129人だった。インド由来のデルタ型流入により、感染拡大に歯止めがかからなくなっている。タイは感染封じ込めに比較的成功していたが、今年4月から徐々に拡大。ワクチンの調達は難航し、1回接種した人の割合は約2割にとどまっている。政府は批判の高まりを受け、ワクチンを共同購入・分配する国際枠組み「COVAX(コバックス)」への参加を急ぎ決めた。タイ保健当局によると、累計の感染者数は49万7302人で、死者は4059人。

雇用調整助成金の特例年内延長へ 最低賃金引き上げを考慮 (中日新聞 7/21付)

政府は21日、新型コロナ禍に伴い、助成率を引き上げていた雇用調整助成金の特例措置を、年末まで延長する方針を固めた。最低賃金の大幅引き上げが10月に見込まれることから、中小企業の負担増に配慮した形。同日午後に関開経済財政諮問会議で示し、年内に追加支援策も検討する。雇調金は企業が従業員に支払う休業手当の一部を補填する仕組み。政府はコロナ禍で業績が悪化した企業の支援策として、助成の日額上限を約8300円から1万5千円に引き上げた。中小企業向けの助成率も通常の3分の2から、10分の9以上の高水準を年末まで維持する。現行の特例は9月末までを期限としていた。

## ベトナム航空、日本線一部再開 ベトナム発のみ、8月運航計画 (TRAICY 7/21付)

ベトナム航空は、8月の日本路線の運航計画を決定した。ハノイ発東京/成田行きはVN310便を水・土曜、ホーチミン発東京/成田行きはVN300便を火曜に運航する。ハノイ発は8月14日、ホーチミン発は8月17日には運休する。ベトナムでの新型コロナウイルス変異株の感染対策の強化など、出入国規制や検疫、需要動向を踏まえたもので、ベトナム政府の要請による、帰国支援を目的とした運航は継続する。帰国支援の利用は、在日ベトナム大使館まで問い合わせを求めている。

■ダイヤ VN310 ハノイ(00:30)～東京/成田(07:45)／8月4日・7日・11日・18日・25日・28日 VN300 ホーチミン(01:30)～東京/成田(09:25)／8月3日・10日・24日・31日

## 成田空港で国際線の「顔パス」搭乗始まる 顔認証技術で (朝日新聞デジタル 7/19付)

成田空港で19日、国際線に「顔パス」で搭乗できる新システムの運用が始まった。顔認証技術を使ったもので、空港の自動チェックイン機で顔を撮影、登録すれば、空港内で搭乗までに何度もパスポートや搭乗券を提示する煩雑さが解放される。羽田空港でも同様のシステムの運用がこの日スタート。当面は一部の路線だけだが、航空会社は順次、対象路線を増やす方針だ。成田空港では19日午前、日本航空がシカゴ便でこのシステム「Face(フェイス)Express(エクスプレス)」の運用を始めた。旅客は自動チェックイン機でマスクを外して顔写真を撮影。これで顔とパスポート、搭乗券の情報がひもづけられ、マスクを外した状態で顔にカメラに向けて、手荷物を預けたり、保安検査場入り口や搭乗ゲートを通過したりできる。パスポートなどの受け渡しの機会が減るため、新型コロナウイルス対策としても期待されている。一方、出国審査は、この顔認証と連動していない。このシステムは、先進的な空港の姿を世界に発信しようと、東京五輪前の運用開始を目指して成田国際空港会社などが今春から実証実験を進めていた。全日空はまずメキシコ便で運用を始め、羽田空港では日航が19日から、台北行き1便のみで運用を始めた。成田空港から3人で米国に出張するため、「顔パス」でシカゴ便の搭乗手続きをした愛知県豊田市の会社員、田村竜徳さん(39)は「手続きの時間が短く、便利でスムーズ。パスポートの受け渡しが減り、コロナ対策で毎回手洗いしなくて済むのもいい。また使います」と話した。

## 羽田・成田・伊丹・関西・福岡発の旅客、政府が無料のPCR検査実施 (Fly Team 7/19付)

政府は2021年7月20日(火)から8月31日(火)まで、羽田、成田、大阪国際(伊丹)、関西、福岡空港から北海道・沖縄県へ向かう定期便の利用者を対象に無料のPCR検査・抗原定量検査を実施します。すでに7月15日(木)から予約を開始しています。無料のPCR検査・抗原定量検査を通じた感染状況のモニタリング、データ分析による早期の感染源探知、早期の対応につなげることが目的です。首都圏、関西圏、福岡空港を出発する対象者のうち希望者は、木下グループ新型コロナPCR検査センターで検査できます。羽田では第1ターミナル4階マーケットプレイス、第2ターミナルは地下1階、伊丹では1階のレンタカーステーション、福岡では国内線ターミナル2階南にそれぞれ施設が設けられており、出発時に空港で検査が可能です。成田、関西の2空港は空港内に施設がなく、羽田・伊丹の検査センターの利用、または8月上旬から実施予定の郵送検査の利用が勧められています。なお、出発当日の検査、検査センターの店舗ともに予約が必要です。詳しい手続きは内閣府のウェブサイトを参照ください。

## 変異株指定国に4カ国・地域追加 措置変更も (TRAICY 7/16付)

厚生労働省は7月15日、「水際対策上特に懸念すべき変異株に対する指定国・地域」に、新たに4カ国・地域を追加した。また、4ヶ国・地域に対する措置を変更する。新たに指定されたのは、コスタリカ、ドミニカ共和国、ナミビア、ロシア(サハ共和国)。これらの国・地域からの入国・帰国者は3日間、検疫所が確保する宿泊施設で待機する必要がある。さらに、ロシア(モスクワ市)からの入国・帰国者に対しては、宿泊施設での待機期間を3日間から6日間に延長する。ベトナムとラトビアからの入国・帰国者に対する宿泊施設での待機は求めない。また、「水際対策上特に懸念すべき変異株以外の新型コロナウイルスに対する指定国・地域」に指定されている、スイスからのからの入国・帰国者に対する宿泊施設での待機も求めない。いずれの措置も、7月18日午前0時以降、実施する。

## 日本政府、ベトナムからの入国者に対する水際対策を緩和 入国時に陰性なら指定施設での待機不要に (VIET JO 7/15付)

日本政府は15日、ベトナムからの入国者・帰国者に対する新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の水際強化措置の変更を発表した。これにより、7月18日午前0時以降、ベトナムからのすべての入国者・帰国者は、入国時の検査で陰性と判定されれば、検疫所長の指定する場所(検疫所が確保する宿泊施設に限る)での待機と入国後3日目の検査が不要となり、入国後14日間の自宅などでの待機のみが求められる。ベトナムは「水際対策上特に懸念すべき変異株に対する指定国・地域」に指定されている。6月4日午前0時よりベトナムからのすべての入国者・帰国者は、検疫所長の指定する場所で6日間待機し、入国後3日目と6日目に改めて検査を受けることになった。その後、措置の変更により、7月1日午前0時より検疫所長の指定する場所での待機日数が6日間から3日間に短縮され、入国後3日目に改めて検査を受けることになっていた。

## フィリピンがインドネシアからの入国を禁止 (JETROビジネス短信 7/15付)

フィリピン大統領府は7月14日、インドネシアからフィリピンへ渡航する者と、フィリピン到着に先立って過去14日以内にインドネシアに渡航歴がある者に対して、フィリピンへの入国を禁止すると発表した。実施期間は7月16日から7月31日。その理由について「フィリピン国内での新型コロナウイルス変異株の感染拡大や集団感染を防ぐため」と説明している。なお、政府は7月13日、インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、アラブ首長国連邦(UAE)、オマーンからフィリピンへの入国禁止措置を7月31日まで延長することを発表した。ドゥテルテ大統領は、インドネシアからフィリピンへの入国禁止措置に先立ち、世界各国で感染拡大が警戒されているデルタ型変異株と、南米地域を中心に感染が拡大しているラムダ型変異株について、フィリピン国内での感染発生時の懸念を示し(政府通信社7月14日付)。国境をまたぐ渡航について、政府が注意深く管理することと呼び掛けている。なお、7月12日時点で国内でのデルタ型変異株の感染事例は確認されていない。

## ルフトハンザ、ミュンヘン便の再開延期 羽田は9月、関西10月に (Aviation Wire 7/15付)

ミュンヘン～羽田線は現地時間9月1日から再開予定で、羽田発は翌日から。機材はエアバスA350-900型機(3クラス293席:ビジネス48席、プレミアムエコノミー21席、エコノミー224席)で、運航日はミュンヘン発が水曜と金曜、日曜、羽田発が月曜と木曜、土曜。羽田行きLH714便がミュンヘンを午前11時50分に出発し、翌日午前6時に着く。ミュンヘン行きLH715便は午前9時40分に羽田を出発して、午後2時20分に到着する。ミュンヘン～関西線もA350-900による運航で、ミュンヘン発は10月2日、関西発は翌3日から。運航日はミュンヘン発が月曜と木曜、土曜、羽田発が火曜と金曜、日曜。関西行きLH742便はミュンヘンを午後0時30分に出発し、翌日午前6時45分に着く。ミュンヘン行きLH743便は午前9時15分に関西空港を出発し、午後2時5分に到着する。フランクフルト～羽田線は7月1日からデイリー運航(週7往復)に増便し、A350-900からボーイング747-8型機に大型化した。フランクフルト発8月11日(羽田発12日)から30日(同31日)まではA340-300に小型化するが、8月31日(同9月)から10月29日(同30日)までの夏ダイヤ期間は747-8に戻す。4路線ある日本路線のうち、残るフランクフルト～中部線は運休が続いている。

## サムイ島でも外国人客受け入れ 日本は「主要ターゲット」タイ (JIJI.COM 7/15付)

新型コロナウイルスの感染拡大で停止していた外国人観光客の受け入れを進めるタイは15日、南部のリゾート地サムイ島で、入国者の隔離を緩める取り組みを始めた。初日は欧州などの招待客が到着。政府は観光客を呼び戻し、経済復興の起爆剤にしたい考えだ。タイでは入国者に14日間の隔離を義務付けているが、サムイ島に到着した観光客はワクチン接種などの条件を満たしていれば、最初から宿泊施設の部屋を出て館内設備を利用できる。4～7日目には指定された島内ツアーの参加が認められ、8～14日目は近隣のタオ島、パンガン島に渡れる。対象となるのは感染が比較的抑えられている国・地域からの渡航者。政府観光庁のチャターン副総裁は「日本人の中でも、特に中高年は主要ターゲット」と明言した。サムイ島を代表する観光名所の大仏前土産物店を営む女性アウイさん(44)は「観光収入の確保し島が生き残る道はない。旅行者の回復につながる取り組みは何であれ、島にプラスになるはず」と期待を寄せる。南部ブーケットでは1日から、外国人を隔離なしで受け入れている。政府はブーケットやサムイ島で成功すれば、隔離免除を10月中旬までに全国に拡大する方針。しかし、タイでは感染が収まらず、インド由来のデルタ株が猛威を振るうバンコク首都圏やマレーシアに近い最南部では、夜間外出禁止令が出された。1日当たりの新規感染者は9000人前後で高止まりしており、実現は見通せない状況だ。

## 英国、ロンドン空港にワクチン接種者の入国専用レーン、混雑緩和で、国際認証された証明書の保有者対象に実証実験 (トラベルボイス 7/12付)

英国のブリティッシュ・エアウェイズ、ヴァージン・アトランティック航空、ヒースロー空港(ロンドン)は、共同でワクチン接種完了者の英国入国手続きを簡素化する実証実験を始めた。英国政府は、指定低リスク国から入国するワクチン接種完了者について、隔離免除の検討を進めているところ。実証実験の対象は、アテネ、ロサンゼルス、西インド諸島のモンテゴ・ベイ、ニューヨーク発の指定フライトで行われる。入国時のワクチン接種証明書提示を円滑に進めることで、空港での混雑を避けるのが狙い。この実証実験への参加者向けには、入国時に専用到着レーンを設ける。IATAトラベルパスなど国際的に認証されたワクチン接種証明書が対象となり、このほかNHSアプリ、CDCカード、米国の各州が発行するデジタル証明、EUデジタル証明なども含まれる。また、ブリティッシュ・エアウェイズは、VeriFlyアプリ、ヴァージン・アトランティックは、デルタ航空と共同開発したTrustAssureの証明アプリも受け付ける。欧州ではすでに、フランス、ドイツ、ギリシャ、ポルトガル、キプロス、マルタが、ワクチン接種完了者の隔離なし入国を認めており、英国はこの対応では遅れを取っていた。英国政府は、経済立て直しに向けて、入国制限の緩和を検討しており、7月19日まではワクチン接種完了者の隔離免除措置を導入する見込み。

## 韓国入国時はコロナ陰性確認書が必要 15日から韓国人も (ソウル聯合ニュース 7/12付)

韓国政府は15日から、新型コロナウイルスのPCR検査の陰性確認書を所持しない人の入国を制限する。国土交通省が12日までにこうした内容の公文を航空各社に送ったことが分かった。これまで韓国入国については、陰性確認書がなくても条件付きで入国を認めていた。政府は2月に海外からの入国者全員を対象に陰性確認書の提出を義務付けた。これにより確認書を持たない外国人の入国が禁止された。ただ韓国人の場合は、指定施設での14日間の隔離に同意すれば入国が認められた。しかし、このところ国内で新規感染者が急増し、インドで最初に発見された変異株で感染力がより強い「デルタ株」の感染拡大も本格化している。政府はこうした状況を踏まえ、海外からのウイルス流入を遮断するため入国制限の強化を決めたとみられる。韓国の1日当たりの新規感染者数は今月7日に1212人に急増。8日からは3日連続で過去最多を更新した。

## (シンガポール)インドネシアからの入国規制、厳格化 (NNA ASIA 7/12付)

シンガポール保健省は10日、インドネシアからの渡航者に対する入国規制を厳格化すると発表した。同国で新型コロナウイルスの感染者が増えていることが背景にある。シンガポール国民と永住権(PR)保持者以外については、インドネシアからシンガポールへの渡航制限を即日開始。十分な安全管理対策が取られている場合のみ、入国許可を検討する。12日午後11時59分からは、過去21日間にインドネシアへの渡航歴がある全ての旅行者のシンガポールでのトランジット(乗り継ぎ)を禁止する。シンガポールに入国する際には、出発前48時間以内にPCR検査を受け、陰性証明書を提示することを義務付ける。現在は、出発前72時間以内の検査と陰性証明書の提示を義務付けている。陰性証明書を提示しないシンガポールに到着した場合、入国を認めないことがあるほか、PRや長期滞在ビザの保持者については、在留資格を取り消す場合もあると警告している。全ての入国者に対し、政府指定の施設での14日間の待機措置(SHN)のほか、到着時と入国後14日目のPCR検査、入国後3、7、11日目の自己検査キットによる即時抗原検査(ART)を引き続き義務付ける。

## 変異株指定国に4カ国追加 インドなど6カ国からの入国者は10日間待機 (TRAICY 7/7付)

厚生労働省は7月6日、「水際対策上特に懸念すべき変異株に対する指定国・地域」に、新たに19カ国・地域を追加した。また、10ヶ国・地域に対する措置を変更する。新たに指定されたのは、ザンビア、アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、キューバ、コロンビア、スリナム、セーシェル、チリ、トリニダード・トバゴ、トルコ、パラグアイ、フィジー、アメリカ(ニューメキシコ州、ユタ州、ワイオミング州)、ベネズエラ、ベラルーシ、ボリビア、リビア、ロシア(カレリア共和国、サラトフ州、ニジネコロド州)。ザンビアからの入国・帰国者には10日間、それ以外からの入国・帰国者には3日間、検疫所が確保する宿泊施設で待機する必要がある。さらに、インドネシアからの入国・帰国者には6日間から10日間、キルギスからの入国・帰国者には3日間から10日間、アラブ首長国連邦からの入国・帰国者には3日間から6日間に、宿泊施設での待機期間を延長する。エジプトからの入国・帰国者には6日間から3日間に宿泊施設での待機期間を短縮する。エストニア、ナイジェリア、フランス、アメリカ(カンザス州、デラウェア州、メイン州)からの入国・帰国者には宿泊施設での待機を求めない。また、「水際対策上特に懸念すべき変異株以外の新型コロナウイルスに対する指定国・地域」に指定されている、カナダ(オンタリオ州)、アメリカ(ミネソタ州)、ルクセンブルクからの入国・帰国者への宿泊施設での待機を求めない。いずれの措置も、7月9日午前0時以降、実施する。

## ニュージーランド航空、東京/成田~オークランド線の週1便運航を12月まで継続 (TRAICY 7/6付)

ニュージーランド航空は、東京/成田~オークランド線の週1便での運航を、12月31日まで継続する。東京/成田発は土曜、オークランド発は金曜に、ボーイング787-9型機で運航する。大阪/関西~オークランド線は引き続き運休する。10月31日以降のスケジュールは未定。搭乗できるのは、日本もしくはニュージーランド政府の入国の許可を得ている人に限られる。東京/成田、オークランドに遠への乗り継ぎは、トランジットエリア内の待機が24時間以内かつ、最終目的地の入国条件を満たすなどの条件がある。2020年8月11日以降、ニュージーランド入国者の隔離費用は有料化しているほか、2020年10月5日からは、管理隔離割当システムに登録の上、隔離施設のパウチャーを受け取る必要がある。■ダイヤ NZ90 東京/成田(18:30)~オークランド(08:00+1) / 土(4月3日~9月18日) NZ90 東京/成田(18:30)~オークランド(09:00+1) / 土(9月25日~10月30日) NZ90 東京/成田(18:30)~オークランド(09:05+1) / 土(11月6日~12月25日) NZ99 オークランド(09:50)~東京/成田(16:50) / 木(9月30日~12月31日) NZ99 オークランド(08:50)~東京/成田(16:50) / 木(5月6日~9月23日)

## グアム、PCR検査で陰性の渡航者への強制検疫を免除 (TRAICY 7/3付)

グアム政府は、到着の72時間以内に受けた新型コロナウイルスのPCR検査で陰性だった人に対する検疫措置を、7月4日午前0時1分より免除する。グアムでは、2020年3月に公衆衛生上の緊急事態を宣言し、以来、8,300名以上が感染し、140名が死亡した。今年2月19日以降、制限を緩和し、屋内施設の営業などは条件付きで認めている。すでに成人人口の約75%にあたる9万人以上がワクチン接種を受けている。このため、アメリカ食品医薬品局(FDA)が承認した旅行者に対する強制検疫を、5月13日より免除している。6月16日からは対象を、世界保健機関(WHO)の緊急使用リストに掲載されたワクチンを接種した人にも広げていた。

## ピーチ、国内線の座席指定料金と新規予約手数料を値上げ 7月12日午後9時から (TRAICY 6/29付)

ピーチ・アビエーションは、国内線の座席指定料金と新規予約手数料を、7月12日午後9時より値上げする。座席指定料金はインターネット予約の場合、スタンダードシートが490円から590円、プレミアムシートが590円から690円、スマートシートが790円から890円に、それぞれ100円を値上げする。コンタクトセンターや空港カウンターで購入する場合には、いずれも150円値上げする。新規予約手数料は、コンタクトセンターで予約する場合は1,650円から1,700円、空港カウンターで予約する場合は2,750円から2,800円に、それぞれ50円値上げする。インターネットで予約する場合は従来どおり無料となる。

## ガルダ・インドネシア航空、日本発着3路線を運休 7月1日から (TRAICY 6/14付)

ガルダ・インドネシア航空は、新型コロナウイルスの影響に伴う需要動向に鑑み、日本発着の3路線を7月1日より運休する。東京/成田~デンパサール線を7月31日まで、大阪/関西~ジャカルタ・デンパサール線を10月29日まで運休する。東京/羽田~ジャカルタ線も、7月5日から31日までの羽田発月・火・水・木曜と、7月1日から31日までのジャカルタ発日・月・火・水曜の便の運航をとりやめる。航空券を発売済みで、旅行の取りやめや旅程の変更を行う場合は、旅行会社を通じて航空券を購入した場合は旅行会社に、同社から直接購入した場合は同社予約課に問い合わせるよう案内している

## エチオピア、出入国や乗り継ぎでデジタル陰性証明の提示義務付け 7月から (TRAICY 6/10付)

エチオピア保健省は6月2日、PCR検査の偽造した陰性証明書の提示が増加していることを受け、全ての旅行者に対し、デジタル陰性証明の提出を求めることを決めた。出入国や乗り継ぎを行う人を対象に、7月1日から義務付けるものの、6月7日からデジタル陰性証明の提示を推奨している。旅行者は、アフリカ連合とアフリカ疾病管理センター、PanaBiosが共同で構築したTrusted Travelシステムでアカウントを作成し、個人情報や陰性証明書の画像をアップロードすることで発行されるデジタルコードの提示が求められる。エチオピアへの出国時には、認可した検査所で検査を受ける必要がある。全ての検査所が登録機関で、検査後に送付されるメールアドレスの指示に従い、Trusted Travelコードを取得することができる。エチオピアへの入国時や乗り継ぎでは、Trusted Travelに登録されていない国では、従来通り取得した陰性証明書をスキャンか写真撮影してシステム上にアップロードし、検査所などを記入することで、Instant Travel Codeを取得できる。日本からエチオピアに入国、もしくはエチオピアで乗り継ぐ場合にもこれらの措置が求められる。在ルワンダ日本国大使館によると、ケニアやガーナなどの、他のアフリカ連合加盟国でも同様の措置が確認されているという。

## フィンエアー、日本線の運航計画更新 3路線の新設や再開は9月に (TRAICY 6/6付)

フィンエアーは5月20日、日本路線の夏スケジュール期間の運航計画を更新した。現在運航している、東京/成田~ヘルシンキ線を週3便で継続する。東京/成田発は金・土・日曜、ヘルシンキ発は水・木・金曜に、エアバスA350-900型機で運航する。東京/羽田~ヘルシンキ線の新規開設と、名古屋/中部~大阪/関西~ヘルシンキ線の運航再開は9月に再度延期する。夏期のみ季節定期便として運航している福岡~ヘルシンキ線は運休する。札幌/千歳~ヘルシンキ線も当面の間、運休を決めている。◆AY074 東京/成田(11:00)~ヘルシンキ(15:00) / 金・土・日、◆AY073 ヘルシンキ(17:45)~東京/成田(09:10+1) / 水・木・金

## 中部国際空港T1、「Made in ピエール・エルメ」が7月27日にオープン（TRAICY 7/24付）

中部国際空港第1ターミナル3階に、「Made in ピエール・エルメ」が7月27日にオープンする。PIERRE HERMÉ（ピエール・エルメ）氏が選りすぐった選りすぐった日本の素晴らしいものを世界へ発信するコンセプトブランド「Made in ピエール・エルメ」では、マカロンやショコラ、焼き菓子のほか、日本各地の優秀な生産者とコラボレーションした商品も用意した。カフェではオリジナルドリンクやソフトクリーム、ケーキも提供する。広さは約78平方メートル。営業時間は午前7時から午後9時まで、当面の間は午前8時から午後8時まで。

## 中部空港の国際線受け入れ拡充に向けた進捗（6月9日時点）（中部国際空港 NGO NEWSLETTER 6月号）

7月1日以降の検疫による国際線到着便の受入容量は下記の通りです（6月と変更なし）。

① 到着便数：制限なし ② 到着時間帯：7時～19時 ③ 到着旅客数：1,000名/日※

※ 1,000名/日を越える可能性がある日に関しては、各航空会社様からの事前申請の旅客数に基づき、比例配分で旅客数制限を実施する可能性があります。

※ 現在航空局による、外航社の到着旅客数制限があります。

## 中部国際空港PCR検査センター（セントレアホームページ）

PCR検査ラボを併設した「中部国際空港PCR検査センター」を中部国際空港診療所内に併設しております。中部国際空港PCR検査センターでは、高速で鼻咽頭PCR検査を行う装置を導入し、新型コロナウイルスの件結果判定を約3時間で行います。検査は海外への渡航当日も可能です。（要予約。当日の受付状況により時間を要す場合もあります）

### 【中部国際空港PCR検査センター概要】

・営業時間：年中無休（診療所の営業時間に応じる） ・検査時間：9:00～17:00（診療所の営業時間に応じる。事前予約制）  
・検査方法：RT-PCR検査 ・検査容量：一日あたり最大約100件 ・検査料：38,500円（税込） ※証明書発行手数料（1通）含む

### 【予約～検査当日までの流れ】

- (1) 中部国際空港診療所にメールまたはFAXでご予約ください（事前予約制）
- (2) 検査当日、中部国際空港診療所で受け付け
- (3) 中部国際空港PCR検査センターでパスポートと予約情報を照合
- (4) 検体採油ブースで臨床検査技師による鼻咽頭ぬぐい採取
- (5) 全自動核酸増幅装置でRT-PCR検査を実施
- (6) 約3時間後に陰性証明書の準備ができ次第電話でご案内
- (7) 第1ターミナル3階案内センターで陰性証明書を受け取り

★詳しくは中部国際空港診療所ホームページにてご確認ください。

## 第1ターミナル3階案内センターで「海外渡航者向けPCR検査」の陰性証明書の受け取りが可能です

藤田医科大学病院（豊明市）、藤田医科大学ばんだね病院（名古屋市中川区）、藤田医科大学岡崎医療センター（岡崎市）で「海外渡航者向けPCR検査」を受けた方の陰性証明書について、第1ターミナル3階案内センターでも受け取りが可能です。案内センターで陰性証明書を受け取る為には、学校法人藤田学園が運営する病院でのPCR検査の受検及び検査時に証明書の受取場所をご指定いただく必要がございます。